

編集後記

< * > 4月に与座委員より編集を引き継ぎました。編集作業の遅れのため会誌の発送が遅れましたことをお詫び申し上げます。会誌発行までに時間的余裕が十分ではありませんでしたが、ご無理を申し上げて名古屋大学の原口先生には巻頭言に御執筆いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。海外からの指標の欄にはスウェーデンのJohansson教授よりご寄稿頂くよう手配致しておりましたが、残念ながら今回には間に合いませんでした。次回には掲載できるものと思っています。

< * > 今回の会誌には、総説1報、研究報告3報、トピクス2報、海外報告、学会情報、文献情報と充実した内容となっているようです。文献情報についてはF I Aの研究者はもちろん、種々の現場の分析に適用を考えておられるかたも、F I A装置のメーカーの方にとっても極めて役にたつものではないかと思えます。馬場先生には文献の収集にいつも大変なご苦勞をおかけいたしております。文献の数もすでに2000報を越えております。パーソナルコンピュータによる文献検索ができるように、これらの文献のデータベース化を図ってはとの意見も聞かれます。

< * > 本年8月に熊本で開催されますフローアナリシスV国際会議がいよいよ迫って参りました。お知らせの欄にプログラムを掲載致しておりますように、招待講演、口頭発表及びポスター発表を合わせますと133件（内海外93件）にもものぼり、前回ラスベガスで開催されましたフローアナリシスIVでの講演数を上回る盛況です。多数のご参加をお待ち致しております。

< * > 各会誌の1号には会員名簿を掲載致しております。誤りや変更がございましたら、事務局まで御一報下さい。

< * > 事務局では本誌への多数の御寄稿をお待ち致しております。

(今任稔彦)